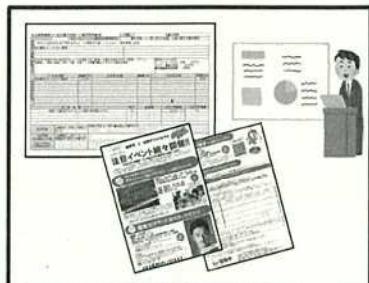
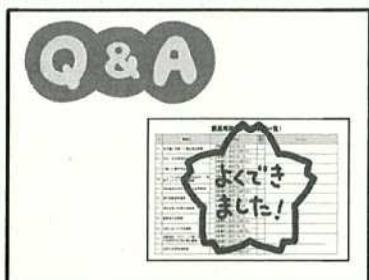


評価の流れ



①事業の説明 …5分

- ・実施した事業ごとに説明
- ・各担当部署より説明
- ・どのような事業を行ったか
- ・どの程度効果があったか
- ・今後どのような展開を行うのか



②質疑応答 …10分

③各委員による評価 …3分

- ・各委員が疑問点等を質問
- ・各委員が各自評価を記入
 - 有効か有効でなかったか
 - 必要に応じコメントを記入



④審議会全体評価とりまとめ …2分

- ・各委員が評価内容を挙手で発表
- ・事業ごとに審議会全体での評価を取りまとめ

14

評価方法は？

委員用評価シート(事業一覧)

No.	事業名	評価項目(該当箇所に○)	コメント
1	健(康)診体制の充実と医療費適正化の推進	目標達成に 有効であった • 有効とは言えない	
2	安全・安心な学校づくりの推進	目標達成に 有効であった • 有効とは言えない	
3	教職員の指導力向上の取組の充実	目標達成に 有効であった • 有効とは言えない	
4	地域資源のブランド創出・魅力向上	目標達成に 有効であった • 有効とは言えない	
5	総合計画の進行管理	目標達成に 有効であった • 有効とは言えない	

この部分を記載

15

まち・ひと・しごと創生総合戦略とは？



16

まち・ひと・しごと創生総合戦略とは？①

H26.11「まち・ひと・しごと創生法」
→自治体の戦略策定を求めるもの

※瑞穂市はH27.10策定(H28.3改訂、H29.9改訂)
戦略の期間は、平成27年度～令和元年度

- ・人口減少・少子高齢化への対応
- ・瑞穂市人口ビジョン(将来展望)
→2040年(令和22年)に55,000人を確保

◎出生率を高める
・合計特殊出生率
2040年までに1.8を実現

◎社会増人口の確保
・市外からの大学生やファミリー世代の
定住化を促進

17

まち・ひと・しごと創生総合戦略とは？②

基本目標

①瑞穂市の次代を担う「ひと」を育む

○年間出生数

○合計特殊出生率

②瑞穂市の特性を活かした「しごと」をつくる

○就業人口・労働力人口

○事業所数

③瑞穂市に安心して住み続けられる「まち」をつくる

○住みやすさの評価・居住意向

④瑞穂市の魅力で「交流・にぎわい」を生み出す

○交流人口(観光・交流入込客数)

○地域ブランド創出件数

18

本審議会での具体的な担任事務(総合戦略編)

瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略の

「 KPIの評価と検証 」

① H30の実績を評価

= 国の交付金により実施した事業を評価

② 総合戦略の見直し



19